

# エスペラント ★

Verda Placo 2017 printempo

みどりのひろば 2017年 春

N-ro 38

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Sakuraj floroj (fotis TADA Ryuji)

## 2017年度 ( H29 ) はりまエスペラント会総会を開催した。

3月5日 ( 日 ) 「イーグレひめじ」のセミナー室Bで2017年度はりまエスペラント会総会を開催した。12時から“Jarlibro 2017”にもとずき、議事はすすめられた。活動計画、役員、前年度会計も承認されました。

出席者7名、委任状4名で過半数はクリアーしました。

## 第13回ひめじ国際交流スプリングフェスティバルに参加した。

3月5日 ( 日 ) 「イーグレひめじ」にて、展示コーナーとセミナー室で2時間エスペラント会話教室を実施した。

前日から 展示コーナーは設営した。当日9時半集合して、会場を整えた。いつものように春は人があつまらない。会話教室もベトナムの学生が顔を出したが、単なる説明だけだった。神戸から応援にかけつけていただいた磯貝さんにも申し訳ありませんでした。昼時間の総会中は展示コーナーの留守番をお願いして、恐縮至極です。



## S-ino Tina estas tre Ĉarma.

NAKAMURA Masako

**S-ino Agustina Passvanti estas Argentiano. Ŝi havas 23 jarojn..**

東京見物の後、大阪の大本関係者のお宅を拠点に、京都や奈良を観光して、3月23日に姫路へやって来ました。ちょうど姫路の学習会の日で吉田さん達が午後から学習会場に連れてきてくださいました。大阪からTinaさん（彼女の名前が長いのでTinaと呼んでくださいとのこと）、一緒に宇佐美さん、竹田から小林さん、はりまから久保田、塚本、馬場、三鍋、中村と計9名が集いました。

Tinaさんはものすごい勢いでしゃべるので なかなか聞き取れませんでした。塚本さんや小林さんが通訳してくださったので 内容はだいたいわかったつもりです。

Sia patrino estas Esperantisto. Tinaさんは10年前にエスペラントを勉強しただけで、今回日本に来るにあたって急ぎよ会話を練習したようです。それにしてもよくしゃべられるもんだなと感心しました。アルゼンチンの首都ブエノスアイレスに住んでいて、今はエスペラント組織に働きながら大学に通っているようです。彼女はとても明るく表情が豊かでハツラツとしており、たとえ言葉がわからなくても人を引き付ける魅力がある人だと思いました。

過去にも姫路を訪れた Esperantistoj はいたのですが 私は今まで接する機会がありませんでした。今回、海外からの Esperantisto を目の前にして、ほとんど会話もできず、そのことは悔しいのですが、

こうやって外国人と接するのはやっぱり楽しいし、大事なことだなあと痛感しました。

次回はもう少し会話ができるようになっていきたいです。今回のことはとてもよい経験になりました。ありがとうございました。



## Agustina さん ようこそ姫路城へ

### 馬場祝栄

アルゼンチンから若いお嬢さんが姫路城見学にこられました。吉田さんからその旨電話が有りました時、Krokodilo の私ですが、嬉しがりなのでほいほいとご一緒させて頂きました。姫路城の中には竹田の小林さんと3人で入ったのですが、小林さんがご一緒で本当に助かりました。千姫が徳川家康の孫で豊臣秀吉の子供の所に7歳で御輿入れして、、、など私には説明できません。長い廊下を歩きながら、ここから敵が下から攻めてきた時石を落とす所とか鉄砲で撃つところとか、頑丈な木の扉は男性が入って来ないようにとか、私が思いつくままに説明するのを小林さんは、訳してくれました。感謝です。平成の大修理が終わってから、私も天守閣に



登るのは初めてです。以前より明るくなっている気がしました。階段が急ですよとか、頭上に気を付けてとか言いたかったのですが、エスペラントで、その場ではなかなか単語が出てきませんでした。その点大阪からご案内されてきた、宇佐美さんには、頭が下がります。Agustina さんはいろいろ興味があるみたいでひとつひとつ丁寧に見学し質問されていました。お菊の井戸の前では、これも小林さんに説明してもらったのですが、特に興味をもったようで、しきりに、のぞかれています。それにしても、彼女の流暢なエスペラントには、感服です。そしてこれがエスペラントの世界だと確信しました。彼女が若いだけにすばらしく良かったです。日本の若者にもこういう世界があるということを知ってほしいとつくづく思いました。

## Fabelo pri vento kaj bambuaro

### 風と竹林の話

塚本 猛 (c.tak 1970, 2017)

エスペラントを始めて1年少し経った頃に、子供の頃におばあさんに聞いた話を書いていました。初心者頃の怪しげなエス文は少し修正しました。おばあさんの元の話し方は思い出せませんが、ちょっと分かりにくい日本語（熊本弁？）をつけます。

**Tio okazis jam antaŭ longa tempo, sed ankoraŭ oni memoras ĝin. Iu knabeto vivis feliĉe kun siaj gepatroj. La domo en bambuaro ne estis tiel bela, sed li sentis tre kontenta pro la gepatra amo. Kiam li fariĝis dek jara, lia patrino foriris al la lando de spiritoj. La knabo funebris pro sia patrino, sed li brave toleris la malĝojon.**

**Li havis unu fluton kaj ofte blovis ĝin. La fluto estis donaco de la patrino. Ŝi mem faris ĝin por la amata filo.**

昔々の話しばってんな。あつとこに子どもと、父ちゃん母ちゃんて幸せに暮らしとったつ。竹林ん中ん家はあんまきれいなじゃなかつたばってん、親にむぞがられとつ。子どもが十歳になったとき、母ちゃんの死なしたて。子どもそうにや泣こごたつたばってん、気張ってこらえとつ。そん子は笛ば持つとつて、よう吹きよつたつ。そん笛は母ちゃんの、子どもがむぞらしかちゅうてこさえてやらしたとばい。

**Pasis kelkaj monatoj.**

**La patro prenis novan edzinon, ĉar, kiel komercisto, li estis tre ofte devigata forlasi la knabon sola. La nova patrino ne estis bona por la knabo. Ŝi karesis lin kiam la edzo ĉeestas, sed batis lin kiam li forestas. Najbaroj sciigis la edzon pri la batado, sed li ne suspektis sin kulpa, ĉar ŝi estis tiel bela, (kaj) diris, ke tio estas nur puno el ŝia amo. Poste li demandis la edzinon kial ŝi punis. La duonpatrino riproĉis la knabon malbona, maldiligenta. "La bubo ĉiam nur ludas fluton kiam vi ne estas hejme. Ĝi neniom helpas min."**

そつから何月か経つたてち。

父ちゃんな商売んあつて、よう子どもば一人にせなんだつたけん、また嫁さんば貰わたつ。そん嫁さんな子どもにようしてやらつさんかつたつ。父ちゃんの居らすとしゃが、むぞがらしたばってん、居らつさらんとしゃが、子どもば打つたときよらしたとよ。近所ん

人たちん、そるば父ちゃんに言わしたとばってん、嫁さんのそうなもんむしゃんよかけん、悪かて思わっさんで、「そら、むぞかてちゃしつけんとしゃが」て言いよらした。後かっ父ちゃんはかくさんに「なして打ったたいたつか」て訊かしたとよ。かくさんな、子どものこつば「怠けもんでしょんなか」て悪う言うたてつ。「あん子は父ちゃんのおらっさんとしゃが、手伝いも何もせんで笛ばっかる吹いとつとじゃけん。」

**La patro devis iri al la ĉefurbo. La vojaĝo necesos tri monatojn. La knabeto petis kiel memordonacon de li tuĉpenikon kaj tuĉstonon por ekzerciĝi en literoj. Post la eliro la duonpatrino pli severiĝis, krueliĝis. Ŝi donis manĝaĵon al li nur unu-fojon por plena diurno, kaj ŝi igis laboregi la malsatan knabeton. Li skribis leteron al la patro, ke li tuj revenu. Li ploris en la bambuaro, kaj blovis malĝoje la fluton. "Mi ne deziras tuĉpenikon nek tuĉstonon, nur vi paĉjo revenu tuj al mi!"**

父ちゃんな都に行かんなんごつならした。3月もかかっつ。子ども、勉強すっけん土産に筆と硯の欲しかって頼んだつ。出て行かしてかっ、そん継母はそうなもんむぞかこつばさすごつならしたて。子どもにや日に一回しか飯ばやらんで、たいがあひだるかつば、働かさっだけ働からせらしたと。そるけん子ども父ちゃんに、「早よもどってはいよ」て手紙ば書きよったつ。そっで竹林ん中で泣きながる笛ば吹きよった。「筆も硯もいりまっせん、とうちゃん、早よ戻ってきてはいよ。」

**La knabon kaptinte la virino diris, ke li banu sin. "Vi devas esti laca, refreŝigu." Ŝi enigis lin en banujon, faris fajron, varmegigis la akvon. Pro la troa varmegeco, li kriis en la banujo, "varmege! eligu min, eligu min!" Sed la virino ne ĉesis, male ŝi forte puŝis lin en la varmegan akvon.**

そん嫁さんな子どもんば捕まえてかっ、風呂に入れらしたつて。「きつかったやろ、ゆっくりしなっせ」て、子どもんば風呂に入れてかる、火ばおこして湯ばわかしたと。子どもんは、お湯んたぎってかっあんまし熱かもんで、「熱かばい、出してはいよ、出してはいよ」て泣いたてち。そるばってん嫁さんな聞きなはらんで、たぎっとる湯ん中、押し込ましたつ。

<daŭrigota en la sekvanta numero>

## D-roザメンホフに感謝する集い

4月14日(金)「イーグレひめじ」ボランティア室にて、10時から、ザメンホフ博士の没100年(1917.4.14)を記念して集まった。

ザメンホフを偲び、エスペラントとの出会いを感謝するためにみんなでザメンホフの演説を朗読し、峰さん宛の色紙にみんなで寄せ書きをした。後、会場内の”ミレー”で昼食会食をし、親睦を深めた。



## <Movo de memburoj>

中西明子(1992/4)、小西美佐子(1992/4)、中川幸子(2007/01)  
以上三名の会員が3月末をもって退会されます。

誠に残念ですが、これからもエスペラントにご尽力いただきますようにお祈りします。ありがとうございました。

4月1日現在ではいまエスペラント会は18名の会員となります。

## <Kongresoj>

今からでも 参加は間に合います。

- 6月 3日～ 4日 第64回関西エスペラント大会  
大阪大学会館(阪急石橋駅より徒歩10分)
- 7月22日～29日 第102回世界エスペラント大会  
ソウル(ハングック外語大学会館)
- 11月3日～ 5日 第104回日本エスペラント大会  
かながわ労働プラザ(JR石川町駅徒歩3分)

**学習例会の記録** Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

＜姫路：イーグレ第4会議室＞学習例会は午後1時半～4時

1月26日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、中川

2月16日(木) 中村、三鍋、大前、中川

CD エクスプレスと“KARLO”, 学力検定試験問題

3月23日(木) 中村、大前、馬場、三鍋、吉田、塚本、久保田  
“S-ino Tina を困っての交流会。

＜加古川：生活創造文化センター＞学習例会は午後1時～4時

2月12日(日) 塚本、馬場、多田、

エスペラント入門コース兼用おもに「ドリル式エスペラント入門」

＜Skajpo＞学習は毎週水曜日 20時～21時

1月11, 18, 25日 2月1, 8, 15, 22日

3月1, 8, 15, 22, 29日 延べ44名、14. 8時間

Pri “la makulita bendo” Aventuroj de Ŝerloko Holmsó “

**今後の予定** Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日

★加古川 (午後1時～4時, 生活創造文化センター「かこむ」)

エスペラント入門コース継続都度予定、第2、第4土曜日か日曜日  
“「ドリル式エスペラント入門」抜粋使用

★Skajpo (毎週水曜日 20時～21時)

ネットの” Aventuroj de Ŝerloko Holmsó “ボヘミヤの醜聞” 使用

編集後記: 総会も終わり、アルゼンチンからの突然の来客で、はりまエスペラント会もあたらしい風が吹こうとしています。特に、7月後半のソウルでの世界大会の前後、日本に足を延ばすエスペランチストも多いのではないだろうか。今から心の準備も必要かもしれません。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 38 2017年 4月15日

発行: はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 稲田正昭)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 [t-ryuji@sky.plala.or.jp](mailto:t-ryuji@sky.plala.or.jp)